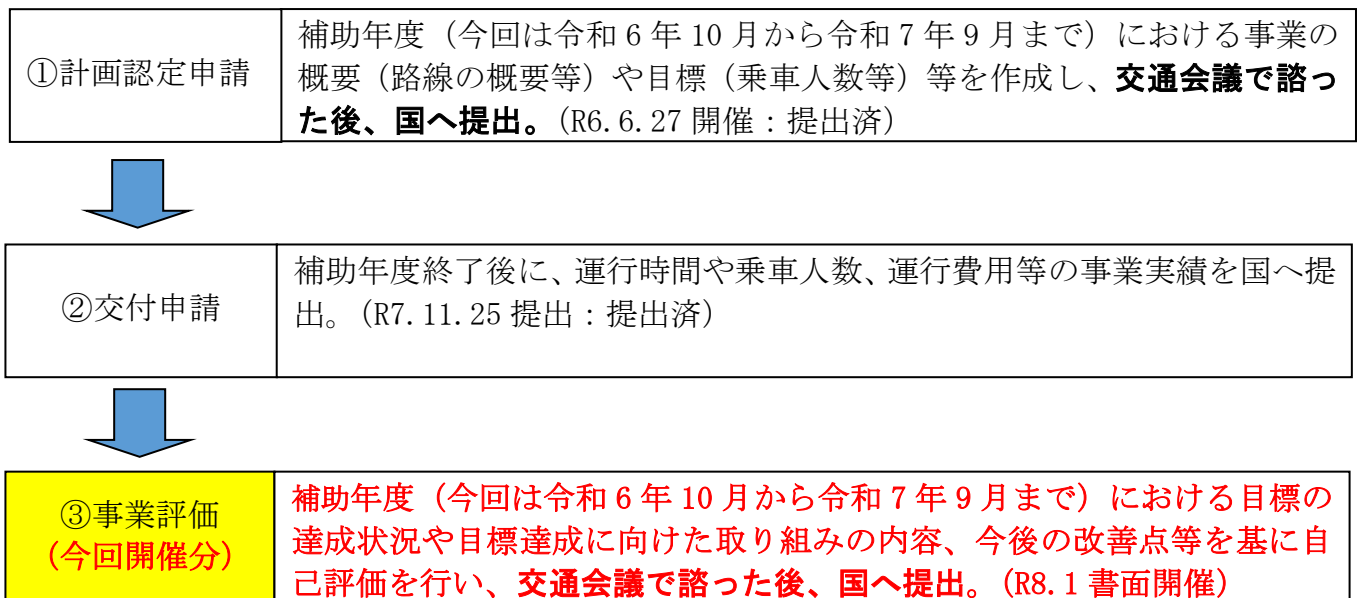


協議事項 1

令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について (地域間幹線系統 (路線バス) 確保維持費国庫補助金分)

たつの市地域公共交通会議では、市内を運行する路線バスの運行費用について、国から補助金を受けています。

補助を受けるまでの流れ



協議事項 1 では、事務局において作成した「地域間幹線系統 (路線バス) 確保維持費国庫補助金」に係る事業評価について、承認いただきたく、お諮りさせていただきます。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名: たつの市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神姫バス株式会社	「姫路駅前～青山西～龍野」の運行	前回事業評価未実施	A 計画どおり事業を適切に実施	A 人件費や燃料費等の費用高騰や人手不足の厳しい経営環境が続く中、国補助制度の活用や県・市町独自の補助制度等により、住民生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	<ul style="list-style-type: none"> 沿線の通学需要や病院への通院を考慮したダイヤ設定による利用取り込みの継続 バスロケーションシステムやICカード利用データを用いた、需要に応じた運行計画の見直しの検討 並走路線の再編による需要の集約検討 沿線の学校へのモビリティ・マネジメントによる利用促進 姫路市・市内店舗とのサイクル&バスライドの取組みを通じた利用促進
神姫バス株式会社	「姫路駅前～林田・インター～山崎」の運行	前回事業評価未実施	A 計画どおり事業を適切に実施	A 人件費や燃料費等の費用高騰や人手不足の厳しい経営環境が続く中、国補助制度の活用や県・市町独自の補助制度等により、住民生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	<ul style="list-style-type: none"> 沿線の通学需要や病院への通院を考慮したダイヤ設定による利用取り込みの継続 バスロケーションシステムやICカード利用データを用いた、需要に応じた運行計画の見直しの検討 並走路線の再編による需要の集約検討 沿線の学校へのモビリティ・マネジメントによる利用促進 姫路市・市内店舗とのサイクル&バスライドの取組みを通じた利用促進
ウイング神姫	「山崎～新宮駅～ダイセル前」の運行	コロナ禍後のライフスタイルの変化等の影響により利用者の減少が続くなか、国補助制度の活用や県・市町独自の補助制度等により、県民生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	A 計画どおり事業を適切に実施	A 燃油価格高騰や人材不足等の厳しい経営環境が続く中、国補助制度の活用や県・市町独自の補助制度等により、県民生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	<ul style="list-style-type: none"> ①沿線のJR網干駅・播磨新宮駅及び山崎バスターミナルにおけるJR及びバス接続向上の為に、JRダイヤ改正に合せた時刻改正の実施 ②姫新線利用促進活性化同盟会との連携による乗継ガイド及びたつの市おでかけ時刻表を活用した利用促進



評価記載箇所

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名:	たつの市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	たつの市は兵庫県南西部に位置し、東西約16km、南北約30km、総面積約210.87km ² 、人口は約72,000人の都市である。安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが移動しやすい地域公共交通システムの構築が必要不可欠であるが、近年では人口減少や高齢化が進み、民間路線バスの撤退等による公共交通空白地の拡大が問題となった。その対策として、コミュニティバスを運行したが、バス停まで遠い、運行便数が少ないなどを理由に利用者数が伸び悩んでいた。そのため、令和4年3月に『安心・安全・快適に誰もが移動しやすいまち たつの』を基本理念とした第2次地域公共交通計画を策定し、高齢者や障害者等の交通弱者の生活の足を確保することを目的として運行するフィーダー系統「市民乗り合いタクシー」(デマンド型)と地域間幹線系統を組み合わせることで、利便性の高いきめ細かな生活交通ネットワークの構築に努めているところである。

たつの市地域公共交通会議（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

第2次たつの市地域公共交通計画

目指す将来像『安全・安心・快適に誰もが移動しやすいまち「たつの」』

- ・新型コロナウイルス感染症の影響から脱却し、総合的な交通ネットワークと安全で安心な利用環境が整備されることにより、全ての人が快適に移動でき、便利で暮らしやすいまちづくりにつながる交通体系の実現を目指す。

将来像実現のための計画目標

1. 誰もが移動しやすい交通ネットワークの構築

誰もがわかりやすく、移動しやすい交通ネットワークの構築

2. 多様な交通と人が集まり快適で賑わいある交通結節点に向けた機能向上

わかりやすい情報発信や多様な交通の連携強化により、人が集まり、快適で賑わいある空間づくり

3. みんなで育てる安全・安心な交通環境の創出

交通と衛生の両面で安全性向上を強化するとともに、利用者が安心して利用できる交通環境の創出

公共交通ネットワークのイメージ図

別添地図のとおり

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

第2次たつの市地域公共交通計画

3つの計画目標（「誰もが移動しやすい交通ネットワークの構築」「多様な交通と人が集まり快適で賑わいある交通結節点に向けた機能向上」「みんなで育てる安全・安心な交通環境の創出」）の達成状況を把握するため、評価指標として、以下に示す指標を定める。

①公共交通利用者数

上記の計画目標に基づいて事業を推進することで、鉄道・路線バス・コミュニティバス・市民乗り合いタクシー等の全ての公共交通利用者数を、令和2年度の6,027人/日から999人/日増加させ、令和8年度には7,026人/日とすることを目標とする。

令和6年度の実績は、令和5年度と比較して微減し、目標を下回る結果となった。

評価指標	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和8年度)	達成率
公共交通利用者数	6,027人/日	7,014人/日	7,026人/日	99.8%

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

1 市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」の運行

市内での買い物や通院等の日常生活における移動を支えるとともに、鉄道やバスまでの移動手段を確保する支線としての役割を担う市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」を市内全域で運行した。

目的地として、日常生活に欠かせない病院や商業施設、金融機関等が市内全体で 500 件以上設定しており、利便性向上のため随時目的地を追加している。

2 コミュニティバスの再編

通勤・通学や買い物等の日常生活を支えることを目的として市域を南北に運行している。また、速達性や利便性、効率性を向上させるために、きめ細かく運行内容を見直し、利用状況に応じた路線の再編や鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を実施している。

3 播磨科学公園都市圏域定住自立圏圏域バス「てくてくバス」の運行

圏域内の公共交通ネットワークの充実を図るため、光都を経由して本市と上郡町を結ぶ播磨科学公園都市圏域定住自立圏圏域バス（愛称：「てくてくバス」）を運行した。また、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を実施し、利便性の向上に努めた。

4 モビリティ・マネジメントの実施

クルマ依存社会からの脱却と公共交通の利用促進を図るため、市内に居住する方を対象としたモビリティ・マネジメントを実施した。

令和 6 年 11 月 22 日	砂子地区老人クラブ（JR 姫新線の歴史、現状について）
令和 7 年 7 月 29 日	養久地区老人クラブ（公共交通のメリット説明、デマンド説明）
令和 7 年 8 月 21 日 随時	龍野商工会議所（市内公共交通の現状と課題について） 市民乗り合いタクシー説明会

5 公共交通利用実態調査の実施

コミュニティバス、圏域バス及び市民乗り合いタクシーについて、利用者の満足度や利用意向を調査し、今後の運行内容の改善・充実に向けた基礎資料とするため市民アンケートを実施した。

令和 7 年 7 月 1・5 日	コミュニティバス利用者アンケート（回収数 98 人）
令和 7 年 7 月 1・5 日	圏域バス利用者ヒアリング調査（回収数 9 人）
令和 7 年 7 月 1・5 日	市民乗り合いタクシー利用者ヒアリング調査（回収数 337 人）

6 総合時刻表・ポケット時刻表の発行

各公共交通機関で個別に作成していた路線図や時刻表を 1 つにまとめ、各公共交通の運行内容を網羅した総合時刻表と外出時に持ち運びできるポケット時刻表を令和 7 年 5 月 9 日に発行した。

7 たつの市地域公共交通計画の策定

本市の公共交通を取り巻く環境の変化に対応するとともに、今後の地域公共交通整備の方向性を示し、誰もが安全・安心・快適に移動できる交通ネットワークを構築していくことを目的として、令和4年3月に「たつの市地域公共交通計画」を策定した。

8 会議の開催状況

開催年月日	会議名
令和7年2月26日	令和6年度第2回たつの市地域公共交通会議
令和7年6月25日	令和7年度第1回たつの市地域公共交通会議

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域間幹線系統補助事業	たつの市地域公共交通会議	令和6年10月 ～令和7年9月	幹	路線バス事業者が運行する幹線系統の補助

【種別】幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
バス対策費補助金	たつの市	平成29年10月 ～令和7年9月	路線バス不採算路線に対する支援
市町振興支援交付金交付事業（コミュニティバスの運行）	たつの市	平成29年10月 ～令和7年9月	コミュニティバス・市民乗り合いタクシーに対する運行支援
姫新線利用促進・活性化事業	たつの市 兵庫県	令和5年4月 ～令和8年3月	兵庫県と協調し、姫新線の利用促進活動に取り組む地域団体へ補助

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
姫新線利用促進・活性化事業	たつの市	令和元年4月 ～令和7年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 姫新線定期乗車券購入者に駐車・駐輪場利用料金を助成 ・兵庫県及び姫新線沿線市町とともに利用促進活動を展開 ・鉄道駅のない宍粟市から姫新線利用者を確保するため、パーク＆ライドを実施
定住自立圏圏域バス運行事業	たつの市 (上郡町)	令和元年4月 ～令和7年3月	定住自立圏域内の公共交通の利便性向上のため圏域バスを運行

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
コミュニティバス運行事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道との乗継を考慮したダイヤ改正を実施し、利便性の向上と利用者の増加に努めた。 ・路線バス「大浦～山電網干線」の運行休止に伴い、交通網の維持を図るため、新たにコミュニティバス「竜野駅大浦線」の運行を開始した。 	コミュニティバス1日当たり乗車人数 250人
姫新線利用促進・活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・播磨科学公園都市圏域定住自立圏域内に住所を有する者又は市内の事業所に勤務し、若しくは市内の学校に就学する者であって、通勤、通学等のため、姫新線の市内に所在する駅を起点又は終点とした定期乗車券を購入したのに対し、駐車料金の助成を行い、姫新線の利用促進を図った。 ・兵庫県と協調し、姫新線「播磨新宮駅～上月駅」間の利用促進活動に取り組む地域の団体へ事業費の補助を実施した。 ・播磨科学公園都市圏域定住自立圏域内のネットワークの強化及び姫新線利用促進の一環として、鉄道駅がない宍粟市から利用を促すために、新宮総合支所の駐車場の一部を無償で貸付するパーク&ライドを実施した。 ・兵庫県及び姫新線沿線市町と協力し、駅周辺でのハイキングイベントや車両基地見学会等の利用促進活動を実施した。 ・利便性向上による乗車人員確保を目的として、車両の増結や増便、播磨新宮駅以西へのICOCAエリア拡大等、JR西日本に対し要望活動を実施した。 	姫新線1日当たり乗車人員 3,452人（年間 300万人）

4. 具体的取組に対する評価

地域間幹線系統確保維持計画に基づき、市内外への移動を支える路線バスを活性化させるために、国、県、市町の適切な役割分担のもと、路線バスの運行経費、車両購入にかかる経費を支援した。

路線バスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく減少し、その後は微増傾向にあるが、目標数値には達していない。また、物価高騰や運転手不足による便数の削減、路線の休廃止等が行われている。

支線交通として市内を運行する市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」やコミュニティバスの乗車人数については、鉄道や路線バスとの乗り継ぎを考慮したダイヤ改正や、ICカードによる運賃支払いシステムの導入など、利便性向上の取組を行ったことで増加傾向にある。今後、市外への移動手段である鉄道及び路線バスの利用者の増加が期待される。

今後もモビリティ・マネジメントを実施することで、公共交通の必要性について周知していくとともに、地域公共交通計画の基本理念「安全・安心・快適に誰もが移動しやすいまち「たつの」」の実現に努めるために、利用促進に取り組み、公共交通を維持・確保に努める。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
コロナ禍を契機に利用者は大幅に減少した。運転手不足や物価高騰等、バス事業を取り巻く環境は深刻さを増している。 持続可能な公共交通を確保するために、乗車人員を確保するための取組や、効率的な運行へと路線の再編を検討する必要がある。	様々な年代を対象にモビリティ・マネジメントや出前講座を実施し、事業周知を図り、利用者数の増加に努める。 国、県、市町、バス事業者が連携して取り組み、地域の移動手段の確保に努める。

たつの市地域公共交通会議（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
<p>目標・効果について、達成できなかったものの、事業実施の適切性については評価できる。</p> <p>今後も、モビリティ・マネジメントや事業者との協議を継続し、持続可能な路線の確保に努めたい。</p>	<p>市内の団体へモビリティ・マネジメントを実施し、公共交通利用のメリット等について講義した。商工会議所では経営者を対象に講義を行い、様々な意見交換を行うことができた。</p>	<p>路線バス、コミュニティバスの運行について、国、県、市町、バス事業者が連携して取り組み、地域の移動手段の確保に努める。</p> <p>持続可能な公共交通を目指すため事業者等と協議を進める。</p>

2. アピールポイント、特に工夫した点など

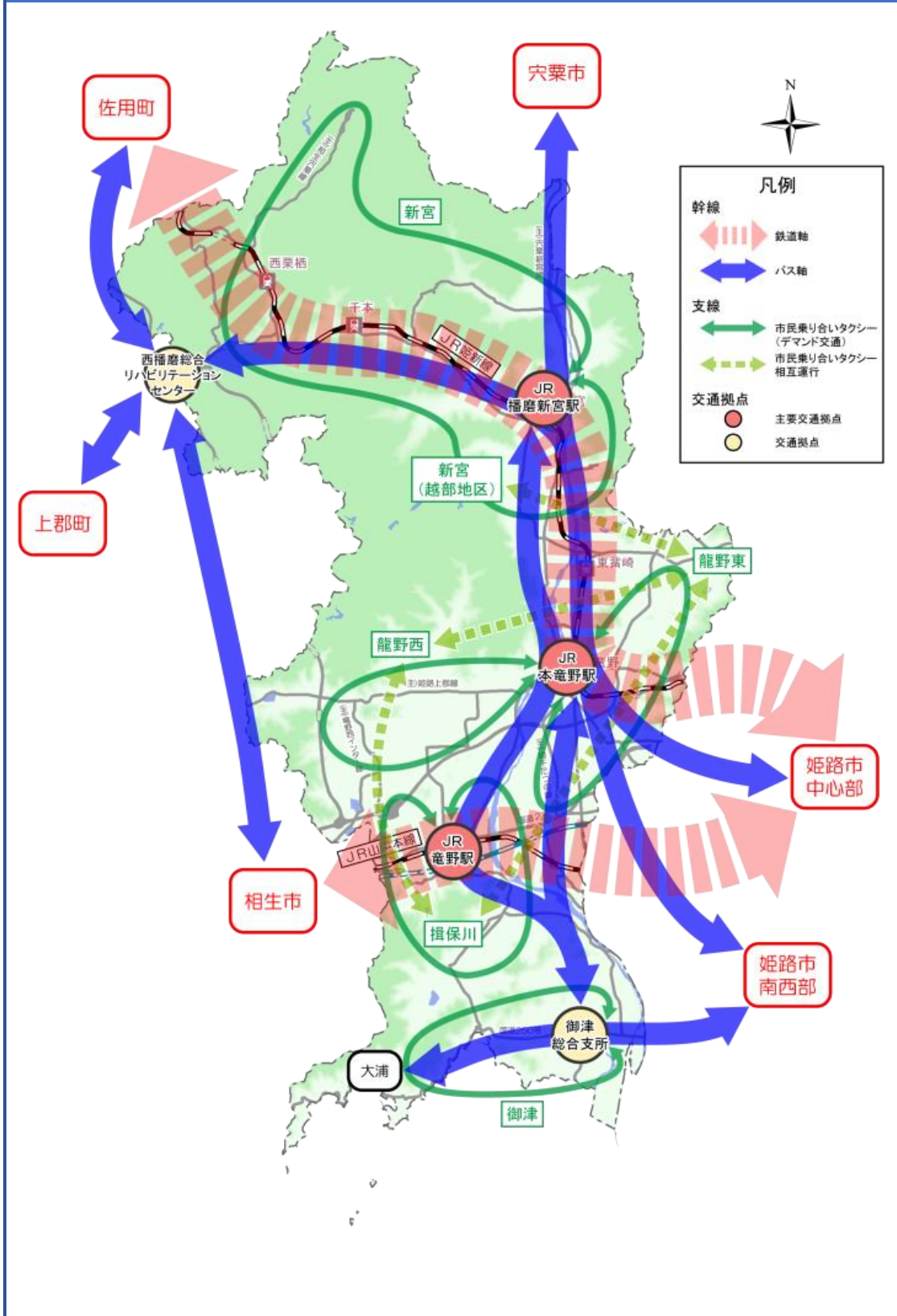
【計画推進】

- ・総合時刻表「たつの市おでかけ時刻表」の改訂版を作成し、市内の全世帯に配付することとともに、転入してきた方へも窓口で配布することにより、公共交通機関を分かりやすく説明し、利用を促進することができた。

【支線交通の運行】

- ・市民乗り合いタクシーを市内全域で運行することで、家から駅やバス停までの交通手段を確保したことで、幹線交通の利用へ繋げることができた。
- ・市民乗り合いタクシー予約センターのオペレーターが幹線交通である鉄道や路線バスへの乗り継ぎを丁寧に案内することにより、幹線交通の利用へ繋げることができた。

公共交通ネットワーク図



『しんぐう☆まちあそび』

～ヒカリをつなぐ絆プロジェクト～

運動

令和7年
1月26日(日)

- 10時～12時
- 13時～16時ごろ
- ※少雨決行
- 西栗栖コミュニティセンター
(たつの市新宮町鍛冶屋105-1)

わくわくプロジェクト

参加
無料

『ダンス☆ワーク ショップ』

定員約15名/10時～12時
からだを動かしながらみんなで
表現する事の楽しさを体
験！！
持ち物【飲み物・タオル・からだ
を動かしやすい服装】

アート

要予約

10時-12時



子どもから年配の方まで、どなたでも
楽しめるプログラムになっています！

当日、みなさんから
『みらいにつながる姫新線』をテーマに
活性化のアイデアを募集します！！

主催:しんぐうNext
問合せ先:090-8752-5314(石井)

要予約



体験

しんぐうNext

食育

参加
無料

『親子料理教室』

【Bon-Mark】
喜多マリコ先生

定員4組(約15名)/10時～12時
節分を前に豆と右田農園マメ部
の『手づくり味噌』を使って親子で
料理教室！！参加費2000円
持ち物【飲み物・エプロン・ふき
ん、持ち帰り用タッパ】

@bonmark.kitchen

10時-12時

赤とんぼクラブ

『かまどDEごはん』

【兵庫で豊かな田舎暮らし】
いのうえ ゆきこ先生
定員6家族(約30名まで)/13時～15時
親子でかまどごはんに挑戦！！
みんなでかまどで炊いたご飯を食
べながら、お米のこと、野菜のこと
を学びましょう！！

13時-15時

要予約



@i.yukinko

交流

参加
無料

【コミュニティー食堂】

『ひとさら』開催！

14時30分～ 会食スタート
※会場は13時から自由に入れます！
☆有機農法で育った『けんたろう農園』の
お米で作るおにぎり
☆野菜がたっぷり入ったお汁
【数量限定】

14時30分～



『みらい☆サロン』 ☆15時～16時

☆トークテーマ☆ ～つながる姫新線～

まちの未来についてかたる場、みらい☆サロン。

今回は、『姫新線』のコレカラについて、みなさんのご意見・アイデアを出し合ひましょう！！

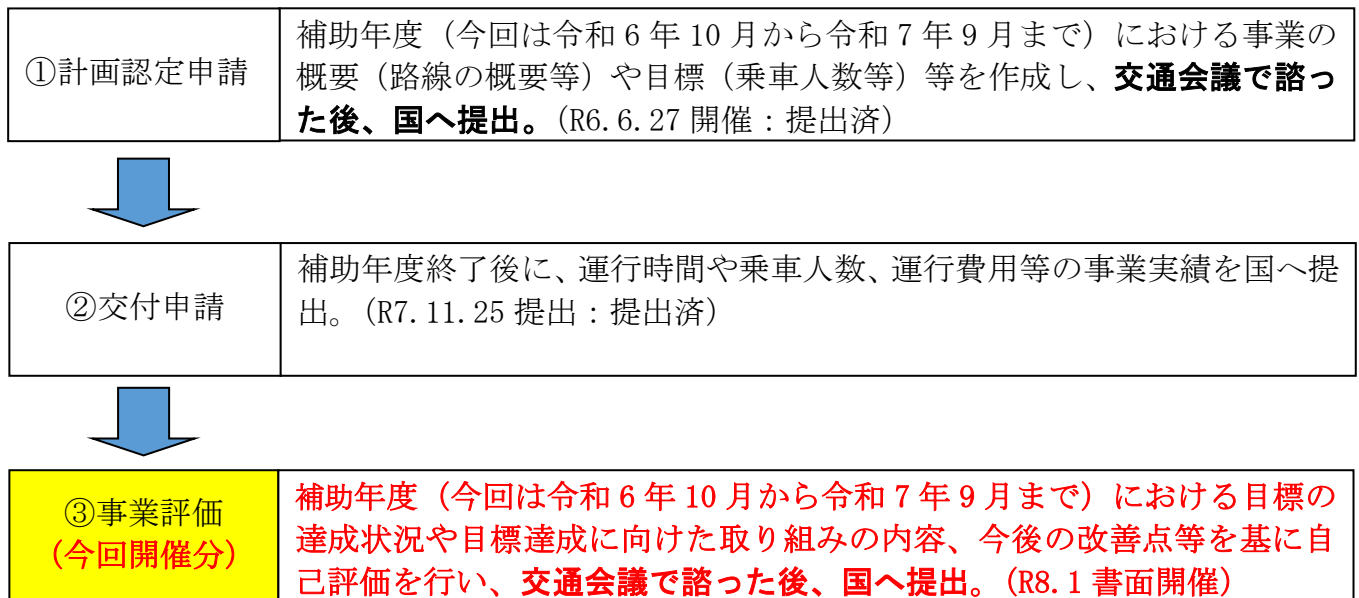


協議事項 2

令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
(地域内フィーダー系統 (市民乗り合いタクシー) 確保維持費国庫補助金分)

たつの市地域公共交通会議では、市内を運行する路線バスの運行費用について、国から補助金を受けています。

補助を受けるまでの流れ



協議事項2では、事務局において作成した「地域内フィーダー系統 (市民乗り合いタクシー) 確保維持費国庫補助金」に係る事業評価について、承認いただきたく、お諮りさせていただきます。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名: たつの市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
たつの市地域公共交通会議	(1)運行区域 ①新宮区域 ②龍野東区域 ③龍野西区域 ④揖保川区域 (2)運行形態 登録制、予約制、乗合で区域内を「ドアtoドア」で結ぶ、デマンド型市民乗合タクシー (3)目的地 ①交通結節点 ②医療・福祉施設 ③金融機関 ④商業施設 ⑤公共施設	平成29年9月には目的地に接骨院及び鍼灸治療院を追加するとともに、平成30年8月には予約期限を2時間前から1時間30分前に短縮し、利便性を向上させた。また、令和元年9月には目的地に介護施設を追加した。市内に商業施設等が新たに開業された場合には、目的地の登録を随時行っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員は目標252人/日に対し、222.5人/日(R6.10月~R7.9月)で、目標に達しなかった。	今後も継続して広報誌への掲載や、MM等を実施して利用啓発に努める。



評価記載箇所

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名：	たつの市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	たつの市は兵庫県南西部に位置し、東西約16km、南北約30km、総面積約210.87km ² 、人口は約72,000人の都市である。安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが移動しやすい地域公共交通システムの構築が必要不可欠であるが、近年では人口減少や高齢化が進み、民間路線バスの撤退等による公共交通空白地の拡大が問題となった。その対策として、コミュニティバスを運行したが、バス停まで遠い、運行便数が少ないなどを理由に利用者数が伸び悩んでいた。そのため、令和4年3月に『安心・安全・快適に誰もが移動しやすいまち たつの』を基本理念とした第2次地域公共交通計画を策定し、高齢者や障害者等の交通弱者の生活の足を確保することを目的として運行するフィーダー系統「市民乗り合いタクシー」(デマンド型)と地域間幹線系統を組み合わせることで、利便性の高いきめ細かな生活交通ネットワークの構築に努めているところである。

たつの市地域公共交通会議（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

第2次たつの市地域公共交通計画

目指す将来像『安全・安心・快適に誰もが移動しやすいまち「たつの」』

・新型コロナウイルス感染症の影響から脱却し、総合的な交通ネットワークと安全で安心な利用環境が整備されることにより、全ての人が快適に移動でき、便利で暮らしやすいまちづくりにつながる交通体系の実現を目指す。

将来像実現のための計画目標

1. 誰もが移動しやすい交通ネットワークの構築

誰もがわかりやすく、移動しやすい交通ネットワークの構築

2. 多様な交通と人が集まり快適で賑わいある交通結節点に向けた機能向上

わかりやすい情報発信や多様な交通の連携強化により、人が集まり、快適で賑わいある空間づくり

3. みんなで育てる安全・安心な交通環境の創出

交通と衛生の両面で安全性向上を強化するとともに、利用者が安心して利用できる交通環境の創出

公共交通ネットワークのイメージ図

別添地図のとおり

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

第2次たつの市地域公共交通計画

3つの計画目標（「誰もが移動しやすい交通ネットワークの構築」「多様な交通と人が集まり快適で賑わいある交通結節点に向けた機能向上」「みんなで育てる安全・安心な交通環境の創出」）の達成状況を把握するため、評価指標として、以下に示す指標を定める。

①公共交通利用者数

上記の計画目標に基づいて事業を推進することで、鉄道・路線バス・コミュニティバス・市民乗り合いタクシー等の全ての公共交通利用者数を、令和2年度の6,027人/日から999人/日増加させ、令和8年度には7,026人/日とすることを目標とする。

令和6年度の実績は、令和5年度と比較して微減し、目標を下回る結果となった。

評価指標	現状値 (令和2年度)	実績値 (令和6年度)	目標値 (令和8年度)	達成率
公共交通利用者数	6,027人/日	7,014人/日	7,026人/日	99.8%

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

1 市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」の運行

市内での買い物や通院等の日常生活における移動を支えるとともに、鉄道やバスまでの移動手段を確保する支線としての役割を担う市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」を市内全域で運行した。

目的地として、日常生活に欠かせない病院や商業施設、金融機関等が市内全体で 500km 以上設定しており、利便性向上のため随時目的地を追加している。

2 コミュニティバスの再編

通勤・通学や買い物等の日常生活を支えることを目的として市域を南北に運行している。また、速達性や利便性、効率性を向上させるために、きめ細かく運行内容を見直し、利用状況に応じた路線の再編や鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を実施している。

3 播磨科学公園都市圏域定住自立圏圏域バス「てくてくバス」の運行

圏域内の公共交通ネットワークの充実を図るため、光都を経由して本市と上郡町を結ぶ播磨科学公園都市圏域定住自立圏圏域バス（愛称：「てくてくバス」）を運行した。また、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を実施し、利便性の向上に努めた。

4 モビリティ・マネジメントの実施

クルマ依存社会からの脱却と公共交通の利用促進を図るため、市内に居住する方を対象としたモビリティ・マネジメントを実施した。

令和 6 年 11 月 22 日	砂子地区老人クラブ（JR 姫新線の歴史、現状について）
令和 7 年 7 月 29 日	養久地区老人クラブ（公共交通のメリット説明、デマンド説明）
令和 7 年 8 月 21 日 随時	龍野商工会議所（市内公共交通の現状と課題について） 市民乗り合いタクシー説明会

5 公共交通利用実態調査の実施

コミュニティバス、圏域バス及び市民乗り合いタクシーについて、利用者の満足度や利用意向を調査し、今後の運行内容の改善・充実に向けた基礎資料とするため市民アンケートを実施した。

令和 7 年 7 月 1・5 日	コミュニティバス利用者アンケート（回収数 98 人）
令和 7 年 7 月 1・5 日	圏域バス利用者ヒアリング調査（回収数 9 人）
令和 7 年 7 月 1・5 日	市民乗り合いタクシー利用者ヒアリング調査（回収数 337 人）

6 総合時刻表・ポケット時刻表の発行

各公共交通機関で個別に作成していた路線図や時刻表を 1 つにまとめ、各公共交通の運行内容を網羅した総合時刻表と外出時に持ち運びできるポケット時刻表を令和 7 年 5 月 9 日に発行した。

7 たつの市地域公共交通計画の策定

本市の公共交通を取り巻く環境の変化に対応するとともに、今後の地域公共交通整備の方向性を示し、誰もが安全・安心・快適に移動できる交通ネットワークを構築していくことを目的として、令和4年3月に「たつの市地域公共交通計画」を策定した。

8 会議の開催状況

開催年月日	会議名
令和7年2月26日	令和6年度第2回たつの市地域公共交通会議
令和7年6月25日	令和7年度第1回たつの市地域公共交通会議

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域内フィーダーシステム補助事業	たつの市地域公共交通会議	平成29年1月～ 令和7年9月	フ	市民乗り合いタクシーの運行

【種別】幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
バス対策費補助金	たつの市	平成29年10月～ 令和7年9月	路線バス不採算路線に対する支援
市町振興支援交付金交付事業（コミュニティバスの運行）	たつの市	平成29年10月～ 令和7年9月	コミュニティバス・市民乗り合いタクシーに対する運行支援
姫新線利用促進・活性化事業	たつの市 兵庫県	令和5年4月～ 令和8年3月	兵庫県と協調し、姫新線の利用促進活動に取り組む地域団体へ補助

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
姫新線利用促進・活性化事業	たつの市	令和元年4月～ 令和7年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 姫新線定期乗車券購入者に駐車・駐輪場利用料金を助成 ・兵庫県及び姫新線沿線市町とともに利用促進活動を展開 ・鉄道駅のない宍粟市から姫新線利用者を確保するため、パーク＆ライドを実施
定住自立圏圏域バス運行事業	たつの市 (上郡町)	令和元年4月～ 令和7年3月	定住自立圏域内の公共交通の利便性向上のため圏域バスを運行

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
コミュニティバス 運行事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道との乗継を考慮したダイヤ改正を実施し、利便性の向上と利用者の増加に努めた。 ・路線バス「大浦～山電網干線」の廃止に伴い、交通網の維持をするため、新たにコミュニティバス「竜野駅大浦線」の運行を開始した。 	コミュニティバス 1 日当たり乗車人数 250 人
姫新線利用促進・活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・播磨科学公園都市圏域定住自立圏域内に住所を有する者又は市内の事業所に勤務し、若しくは市内の学校に就学する者であって、通勤、通学等のため、姫新線の市内に所在する駅を起点又は終点とした定期乗車券を購入したものに対し、駐車料金の助成を行い、姫新線の利用促進を図った。 ・兵庫県と協調し、姫新線「播磨新宮駅～上月駅」間の利用促進活動に取り組む地域の団体へ事業費の補助を実施した。 ・播磨科学公園都市圏域定住自立圏域内のネットワークの強化及び姫新線利用促進の一環として、鉄道駅がない宍粟市から利用を促すために、新宮総合支所の駐車場の一部を無償で貸付するパーク&ライドを実施した。 ・兵庫県及び姫新線沿線市町と協力し、駅周辺でのハイキングイベントや車両基地見学会等の利用促進活動を実施した。 ・利便性向上による乗車人員確保を目的として、車両の増結や増便、播磨新宮駅以西への ICOCA エリア拡大等、JR 西日本に対し要望活動を実施した。 	姫新線 1 日当たり乗車人員 3,452 人（年間 300 万人）

4. 具体的取組に対する評価

地域内フィーダー系統確保維持計画に基づき、市内を運行する鉄道、路線バス、コミュニティバスを活性化させるために、それら幹線交通機関へと繋ぐ役割としての交通機関である市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」を平成 29 年 4 月から市内全域で運行した。

「あかねちゃん」の利用者数は目標数値に届いていないものの、1 日当たり利用人数は運行当初である平成 29 年度の 151.5 人から令和元年度は 234.4 人まで増加した。令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく減少した。令和 7 年度については 12 月現在で 228.2 人であり、昨年度と比較して増加している。

フィーダー交通の利用者数増加に伴い、幹線である鉄道（JR 姫新線）の年間乗車人数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者が大幅に減少したが、令和 6 年度は昨年度に続き 300 万人を達成した。引き続き沿線市町、兵庫県とともに利用促進策を図る。

コミュニティバスも、通勤・通学に合わせたダイヤ改正、ICカードによる運賃支払いシステムの導入及び路線の新設により、1 日平均乗車人数は平成 29 年度の 204.9 人から令和 7 年 12 月末現在で 335.7 人まで増加している。

今後もモビリティ・マネジメントを実施することで、公共交通の必要性について周知していくとともに、地域公共交通計画の基本理念「安全・安心・快適に誰もが移動しやすいまち「たつの」」の実現に努めるために、利用促進に取り組み、公共交通を維持・確保に努める。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
市民乗り合いタクシー「あかねちゃん」の利用率が低い地区が存在するほか、事業を知らない方や、利用登録をしているが、利用経験のない方が多い。また、利用するにあたり年齢や免許の有無等による制限があると誤認識している方が多い。	引き続き利用率が低い地区や様々な年代を対象にモビリティ・マネジメントや出前講座を実施し、事業周知を図り、利用者数の増加に努める。

たつの市地域公共交通会議（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的な対応内容）	今後の対応方針
<p>目標・効果について、達成できなかったところはあるものの、事業実施の適切性については評価できる。</p> <p>今後も、モビリティ・マネジメント等を継続し、定着と普及促進に努めたい。</p>	<p>市内の団体へのモビリティ・マネジメントを実施し、公共交通利用のメリット等について講義した。商工会議所では経営者を対象に講義を行い、様々な意見交換を行うことができた。</p>	<p>公共交通の利用促進だけでなく、将来の職業選択、定住に繋がる可能性もあることから、今後も継続して市内の様々な年代を対象としたモビリティ・マネジメントを実施する。</p>

2. アピールポイント、特に工夫した点など

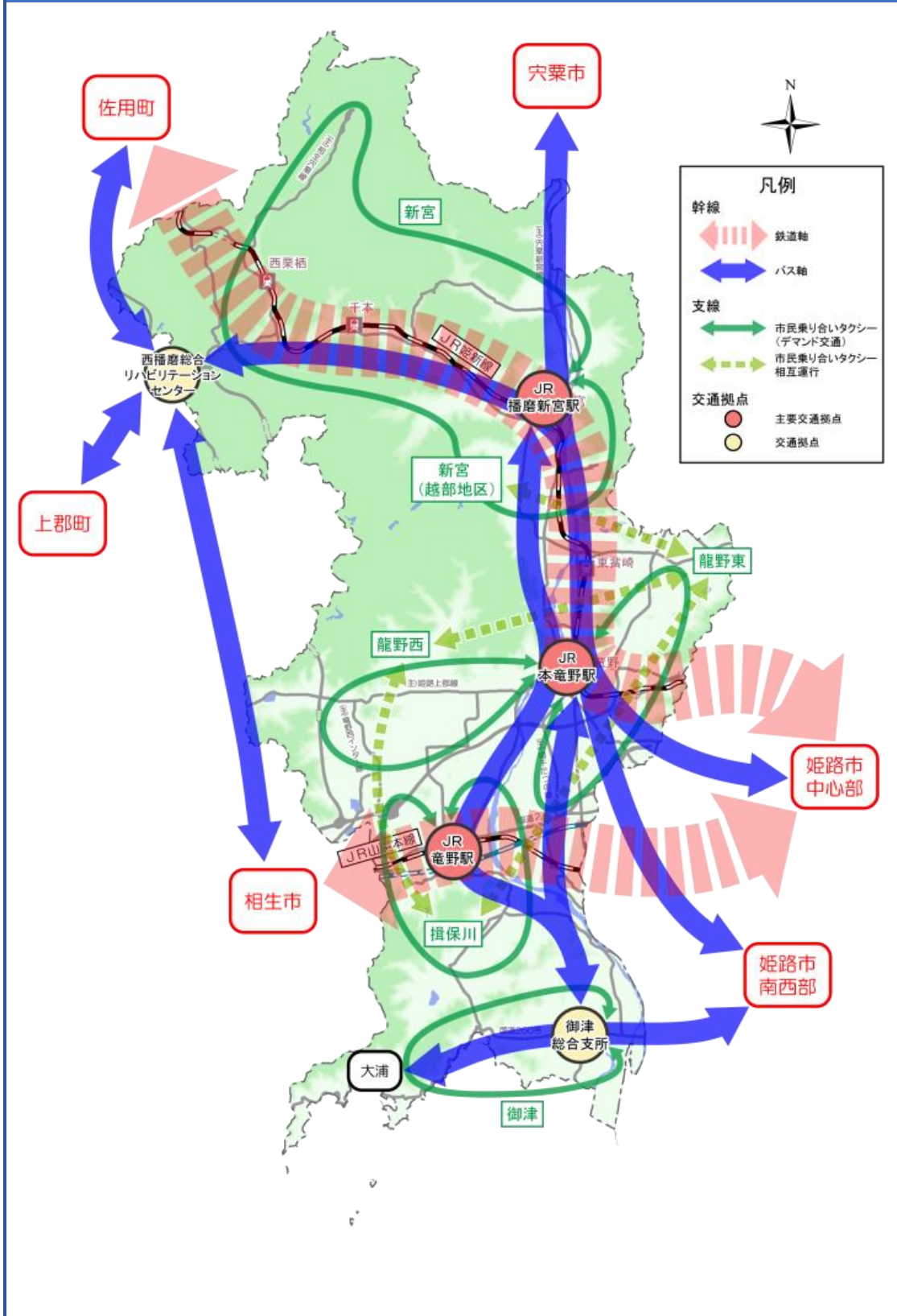
【計画推進】

- ・総合時刻表「たつの市おでかけ時刻表」の改訂版を作成し、市内の全世帯に配付することとともに、転入してきた方へも窓口で配布することにより、公共交通機関を分かりやすく説明し、利用を促進することができた。

【地域内フィーダー系統】

- ・市民乗り合いタクシーの概要や予約方法を出前講座等の説明会を通じて、市民にアピールすることにより、利用促進に繋がった。
- ・フィーダー交通である市民乗り合いタクシー（デマンド交通）が市内全域を運行しているため、市内の公共交通空白地帯は完全に解消した。
- ・市民乗り合いタクシー予約センターのオペレーターが幹線交通である鉄道やコミュニティバスへの乗り継ぎを丁寧に案内することにより、幹線交通の利用人数の増加へと繋げることができた。
- ・他課と連携して、免許返納者への市民乗り合いタクシーの周知を行うことで、新規登録者の確保に努めた。

公共交通ネットワーク図



『しんぐう☆まちあそび』

～ヒカリをつなぐ絆プロジェクト～

令和7年
1月26日(日)

- 10時～12時
- 13時～16時ごろ
- ※少雨決行
- 西栗栖コミュニティセンター
(たつの市新宮町鍛冶屋105-1)

わくわくプロジェクト

参加
無料

運動

『ダンス☆ワーク ショップ』

定員約15名/10時～12時
からだを動かしながらみんなで
表現する事の楽しさを体
験！！
持ち物【飲み物・タオル・からだ
を動かしやすい服装】

アート

要予約

10時-12時



子どもから年配の方まで、どなたでも
楽しめるプログラムになっています！

当日、みなさんから
『みらいにつながる姫新線』をテーマに
活性化のアイデアを募集します！！

主催:しんぐうNext
問合せ先:090-8752-5314(石井)

要予約



体験

しんぐうNext

食育

参加
無料

『親子料理教室』

【Bon-Mark】
喜多マリコ先生

定員4組(約15名)/10時～12時
節分を前に豆と右田農園マメ部
の『手づくり味噌』を使って親子で
料理教室！！参加費2000円
持ち物【飲み物・エプロン・ふき
ん、持ち帰り用タッパ】

@bonmark.kitchen

10時-12時

赤とんぼクラブ

『かまどDEごはん』

【兵庫で豊かな田舎暮らし】
いのうえ ゆきこ先生

定員6家族(約30名まで)/13時～15時
親子でかまどごはんに挑戦！！
みんなでかまどで炊いたご飯を食
べながら、お米のこと、野菜のこと
を学びましょう！！

13時-15時

要予約



@i.yukinko

交流

参加
無料

【コミュニティー食堂】

『ひとさら』開催！

14時30分～ 会食スタート

※会場は13時から自由に入れます！

☆有機農法で育った『けんたろう農園』の
お米で作るおにぎり

☆野菜がたっぷり入ったお汁

【数量限定】

14時30分～



『みらい☆サロン』 ☆15時～16時

☆トークテーマ☆ ～つながる姫新線～

まちの未来についてかたる場、みらい☆サロン。

今回は、『姫新線』のコレカラについて、みなさんのご意見・アイデアを出し合ひましょう！！

